

評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局都市・住宅整備課

担当課長名：栗田 泰正

事業名	おおいだひさみねどおりせん 大炊田久峰通線		事業区分	街路	事業主体	佐土原町	
起終点	自：宮崎県宮崎郡佐土原町大字下田島10401番地 至：宮崎県宮崎郡佐土原町大字下田島10136番地				延長	0.5 km	
事業概要	JR日豊本線との踏切部を立体交差し、周辺道路の整備を行うことにより、自転車・歩行者の安全を確保するとともに交通渋滞の緩和及び交通の円滑化を図り、快適な都市交通環境を確保する。						
H6年度事業化	S43年度都市計画決定 (H10年度変更)		H6年度用地着手		H9年度工事着手		
全体事業費	19億円		事業進捗率	78.1%		供用済延長	0.2 km
計画交通量	3,600台/日						
費用便益分析結果	B/C: （事業全体） 1.8 （事業） 3.4	総費用：（事業）/（事業全体） 4.8/21億円 事業費：4.7/20.8億円 維持管理費：0.1/0.1億円	総便益：（事業）/（事業全体） 16/38億円 （走行時間短縮便益：15.9/37.2億円） （走行費用減少便益：0.5/0.8億円） （交通事故減少便益：0/0.3億円）	基準年：平成15年			
事業の効果等	・交通の安全性向上（平面交差から立体交差へ移行したことによる交通渋滞の緩和、事故防止） ・輸送路としての効用（町中心地への輸送能力向上） ・快適な都市形成への寄与（町中心市街地へのアクセス道路としての役割を担う）						
関係する地方公共団体等の意見	近接で事業中である区画整理事業内委員会の中で、駅東西交通の改善が見られたことについて評価を得ている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	町では「佐土原駅周辺地区まちづくり事業計画」を策定し、中心市街地の活性化を図ることとしている。また、隣接する役場南側では佐土原町総合文化施設（H16開館予定）を建設中である。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	全体区間の事業費の進捗率は78.1%となっており、1期区間については既に供用開始され、2期区間については現在までは用地買収、移転補償等が事業の主要となっている。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	1期区間の起点交差点部において家屋移転権があり、その用地交渉に時間を要し、事業期間の延伸に至った。平成16年度までに用地買収を終了させ、平成17年度に全線供用予定である。						
施設の構造や工法の変更等	軟弱地盤改良工法として、路床セメント安定処理工に変更し、コスト削減を図った。						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。